

令和4年度 丹波篠山市立多紀小学校 卒業式 3月23日(木) 修了式 3月24日(金)です！



学校だより



丹波篠山市草ノ上 108 TEL558-0116 fax558-0260 令和5年3月17日 No.12

令和4年度 学校・保護者・地域が協働して

楽しい地域の学校づくりを進めることができました！



令和4年度もいよいよ締めくくりとなりました。3月23日(木)は卒業証書授与式、3月24日(金)は修了式と子ども達にとっても人生の節目となります。今年度も、保護者、地域の皆様に様々な場面で主体的に多くの子ども達の学習活動に関わっていただき、本当にありがとうございます。校長として多紀小学校に勤めさせていただき3年が経ちましたが、毎年、毎年、どんどん「学校・保護者・地域 みんなで子育て」の協働体制が広がり深まっていくことを心から感じています。おかげさまで、多紀小学校は、子ども達が元気にぐんぐん育つ「楽しい地域の学校」に成長しています。大変うれしいです。多紀小学校は地域みんなが創る地域の学校です。これからも、子ども達を中心に学校・保護者・地域みんなが創る楽しい「地域の学校 多紀小学校」の更なる成長に向けて、どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度、大変お世話になり、ありがとうございました！感謝いたします！！

校長 押部匡子

6年生を送る会

6年生、ありがとう！！全校生から感謝の気持ちを込めて！

3月8日(水) 6年生を送る会を行いました。会の目的は、「これまで多紀っ子のリーダーとしてがんばってきた6年生に感謝の気持ちを伝え笑顔いっぱいになってもらうこと」です。5年生にとっては、初めて全校生を動かす行事です。何日も前から計画し、コツコツと準備を進めてきました。

当日は、ぽかぽか暖かな最高のお天気。教室と体育館の各ゲームブースを縦割り班(1～6年生の異学年の児童で構成)で巡り楽しん



＜6年生のみなさん！今までありがとう！！＞
だ後、運動場で走り回って逃走中ゲームをし、大いに盛り上がりました。5年生からパートナーシップを結んでいるネットトヨタ神戸さんと一緒に作成した再生紙を活用した名刺を6年生にプレゼントしました。6年生へのメッセージを書き入れています。全校生で記念写真を撮った後、6年生が後輩たちに「萌え萌えキュン！」とお茶目な「ありがとうメッセージ」を送り、素敵なお笑いが満開の6年生を送る会になりました。多紀っ子のリーダー6年生、ありがとう！

＜今後の予定＞

3/23(木) 卒業証書授与式(5、6年生参加、1～4年生午前中自宅学習日、児童クラブ開所)

3/24(金) 修了式 11:10下校、4/7(金) 第1学期始業式 11:10下校、4/10(月) 入学式

学校評価アンケート結果をお知らせいたします

多紀小学校のステップアップに生かします！



令和4年度は「よく学び よく遊ぶ ～challenge・communication・creative～」を学校教育目標として取り組んでまいりました。保護者・児童・教職員の三者評価アンケートをもとに今年度の教育活動をふり振り返り「学校自己評価」を行い、学校運営協議会委員の皆様にご意見等を伺いました。その一部をお知らせいたします。今後この学校評価をもとに、次年度の方向性と取組を進めていきます。

	学校自己評価（保護者・児童・教職員）と今後の取組	学校運営協議会委員さんの意見
学力の向上	○「基礎・基本」についてはほぼ理解できていると回答している。人・モノ・授業のユニバーサルデザインの視点からの環境づくりを1年通して研究推進してきた。今後も継続して、児童が興味関心を深め、主体的・対話的な学びを進められる改善に取り組んでいく。 ○表現する力については約90%の児童が「できた」と回答。表現する機会を増やし、タブレットを活用する等表現の手段を多様にしたことで個々の表現力の向上につながった。しかし、課題を感じると回答した保護者は約30%おられる。どのような場面でも自分の思いや考えを様々な手段で伝えられるように児童の考えと考えをつなぐ授業づくりに今後も取り組んでいく。	・これからは自主性を育てる教育が大切で、タブレットを効果的に活用する等児童が主体的に学習に取り組めるようにして欲しい。 ・児童会選挙で多くの児童が全校生に自分の考えを述べたり、学習発表会では思いを伝えるために自分達で創り上げたりと、人間性や表現力を高める場があることは良いことである。 ・自分の思っていることを伝えることが日本人は得意でないのかもしれない。表現力については日本文化も起因しているのでは。 ・定期テストのような自分で習熟度が確認できる機会を持てはどうか。
生徒指導の充実	○「楽しい学校生活が送れていますか」の質問には、児童、保護者の約95%が「達成できた」「ほぼ達成できた」と回答。今後も「全教職員で全員の子どもをみる」姿勢を大切に保護者、地域、関係機関と連携しながら組織的対応を続ける。 ○約5%の児童、保護者がやや課題が残ると回答。人間関係の未熟さ等から解決してもまた同じことを繰り返してしまう状況がある。良好な人間関係に向けて、個別の支援や指導、家庭・関係機関との連携を進め、改善に繋げていく。 ○「あいさつ」は児童の約90%が「達成できた」と回答。高学年の姿勢がよい挨拶の輪を広げている。また、学校以外の場で保護者、地域の方々が明るい挨拶を児童と交わしてくださっていることが挨拶の習慣化に繋がっている。	・いじめ対策を組織的に進めているスタンスはとてもいい。今後も継続してほしい。 ・いじめ対応で課題が残るとした児童、保護者の評価の改善ができるように是非お願いしたい。 ・高学年の姿勢が低学年の憧れとなっている。 ・挨拶を通して地域の人に子ども達を知ってもらうことが最大の防犯対策につながる。地域でも挨拶は大切にしたい。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」を含め、明るく元気な挨拶ができる子を目指したい。 ・基本的な生活が学校だけでは身につくものではないので、家庭とも連携して取り組みたい。
地域と共にある学校	○児童、保護者の約95%が「達成できた」と回答。校区のふるさと素材を生かし、体験活動を通して児童が知的好奇心を高めながら様々な学習を進めることができた。 ○ふるさと学習では「保護者参加型授業」で児童と保護者が共にふるさと多紀について学ぶことができた。 ○地域ゲストティーチャーや多紀っ子応援隊として学校に関わってくださる方が増え、とてもうれしい。学校運営協議会で人材バンクを作成した。今後も、児童の成長に向けて多くの方々に関わっていただくことで児童が多様な社会と触れながら、人生を自分らしく進んでいく生きる力に繋げていく。 ○HPや学校だより、有線放送等で学校情報を積極的に発信できている。	・今年度は、学校・保護者・地域が1つになってできた活動がたくさんあった。3者がそれぞれの立場で子ども達を育てていく、そのための様々なアイデアや意見が積極的に出て、実践に繋がれたことが良かった。 ・校内外の教育活動に地域の皆様からの大きな協力や支援をいただき、「ふるさと多紀」を感じながら成長していける環境がすばらしい。 ・子ども達の教育に関われたことが大変楽しかった。これからも「ふるさと多紀」を学び、多紀を大好きになってほしい。 ・多紀っ子応援隊ギャラリーが3年目となり毎月作品を通して子ども達が地域の方と繋がっている。

*上記以外にも、貴重な意見をいただいております。今後の教育活動に生かしていきます。